

# 南砺市山村振興計画 概要版

## 1 策定趣旨

山村振興計画とは、山村振興法に基づき、山村の有する多面にわたる機能が十分に発揮され、国民がそれらの恵を享受することができるよう、山村等の保全を図ります。また、山村の産業基盤及び生活環境の整備等を図るとともに、地域の特性を生かした産業の育成による就業の機会の創出、住民の福祉の向上等を通じた魅力ある地域社会の形成及び地域間交流の促進等による、山村への移住の促進を含めた定住の促進を図ることを旨として策定するものです。

- ・山村は所得の低迷や雇用機会の減少等から人口減少や高齢化の進行が顕著
- ・地域が支える山村の有する多面にわたる機能の発揮に支障がきたすおそれ

- ・**地域内からの産業振興を推進**し、山村の**所得の向上と雇用の確保**を図る
  - ・**住民の福祉の向上**を図る
- 以上により、山村における**定住等を促進する**ことが必要

## 2 指定地域

南砺市には、「菘谷村」「平村」「上平村」「利賀村」「西太美村」「太美山村」の計6つの振興山村が指定されています。

振興山村名	菘谷村	平村	上平村	利賀村	西太美村 太美山村
指定番号	S45. 5. 8 (第545号)	S43. 4. 12 (第221号)	S42. 7. 20 (第110号)	S41. 8. 19 (第29号)	S45. 5. 8 (第546号)

### 指定基準

旧市町村（昭和25年2月1日時点）単位で

林野率（S35）75%以上 かつ 人口密度（S35）1.16人/ha未満



## 3 現状と課題

- ◆人口減少が著しい、高齢化が進行
- ◆後継者不足、遊休農用地や耕作放棄地の増加
- ◆「農林業」「建設業」「観光」の3つの業種に偏る
- ◆農用地は、小規模な区画が多い
- ◆木材価格の低迷、未整備森林の増加

## 4 振興の基本方針

- ◇地域が持つ潜在力を十分に活用
- ◇「南砺市ならではの」魅力ある地域づくり
- ◇地域産品の高付加価値化
- ◇変化するニーズに対応したサービスの提供
- ◇いきいきと暮らすことのできる生活環境づくり
- ◇定住促進と健全な農林業の維持・発展

## 5 振興施策

### (1) 交通施策

- ・国道、県道の整備促進を働きかけ、市道、農道、林道等の整備を実施
- ・地域ぐるみで道路除排雪を推進
- ・「なんバス」(南砺市営バス)で「暮らしの足」を確保

### (2) 情報通信施策

- ・ブロードバンド・インターネット接続環境の整備促進
- ・携帯電話の不感地域解消対策、テレビ放送電波受信不可地域の対策
- ・南砺市独自のワンセグ「なんとちゃんねる」の活用、「ふれiTVⅡ」により生活支援

### (3) 産業基盤施策

- ・ほ場、農道、耕作道、かんがい排水施設等を支援、「ため池」の維持保全
- ・農作業受託の促進や特産物の開発研究、農業者の研修等、耕作放棄地の対策
- ・伝統工芸産業の新商品の開発、販路拡大支援、新規雇用者の支援
- ・林道の開設、改良、舗装、作業道整備、高性能林業機械の導入や林業の集約化

### (4) 経営近代化施策

- ・担い手に集積・集約、農畜産物の高品質・高付加価値化
- ・低コスト化、食品流通の効率化・合理化

### (5) 地域資源の活用に係る施策

- ・地域資源の利用状況や活用可能量を調査、加工・販売の強化
- ・「なんとの農産加工ブランド品」で消費者の評価向上及び需要拡大
- ・インターネットで全国販売して、市の農業及び食品産業の振興
- ・付加価値の高い特産品の生産・開発、多様な販売ルートの確立、農林業者の所得向上や雇用拡大

### (6) 文教施策

- ・郷土への愛着を育み、地域社会で活躍する総合的な人間力を育む
- ・南砺平高等学校「郷土芸能部」は、伝統芸能を通して情操教育を育む仕組みを継承
- ・世界遺産の相倉及び菅沼合掌造り集落は、地域固有の伝統文化を理解して継承

### (7) 社会、生活環境施策

- ・機能低下が著しい簡易水道施設や下水道施設の整備、更新を推進
- ・自主防災組織等の充実、防火水槽及び小型ポンプ車など消防施設の整備
- ・リサイクルやごみの減量化などの意識高揚

### (8) 高齢者福祉施策

- ・地域での支え合い体制の構築、健康診断、介護予防事業等の実施
- ・在宅介護を充実し屋根雪除雪等を支援
- ・南砺市型「地域包括医療・ケアシステム」を構築

- ・アザラシ型ロボット「パロ」によるセラピー効果を医療や介護の活動に積極的に利用

#### **(9) 集落整備施策**

- ・相倉・菅沼集落は、保存と整備の指針となる基準により、集落保存
- ・住民の主体的、計画的なコミュニティ活動の維持・強化
- ・空き家バンク登録制度の実施など、空き家の有効活用を推進

#### **(10) 国土保全施策**

- ・保安林の整備、
- ・砂防指定地・急傾斜地、地すべり地域における監視
- ・目に入る遠くの山並みに至るまで、地域一帯の景観や環境について維持・保全

#### **(11) 交流施策**

- ・ニューツーリズムで「ここでしか出来ないまちづくり」を推進
- ・都市部の移住希望者に市の魅力を紹介する移住プログラムを実施
- ・地域資源を活用し、観光振興と交流人口の拡大
- ・オーナー制度事業などを実施

#### **(12) 森林、農用地等の保全施策**

- ・生産者や農業関係団体等と連携し、優良農地の保全
- ・世界遺産合掌造りの両集落は、支援者を受け入れながら、農地の維持・保全
- ・森林を活かした総合的な利活用
- ・住民による森づくり活動を支援

#### **(13) 担い手施策**

- ・農地集積による規模拡大や集落営農の組織化・法人化、担い手の育成・確保
- ・五箇山地区では「農地保全継続創造特区」の指定を受け、新規就農者の確保
- ・林業は、労働災害保険や林業退職共済負担金の支援、担い手の育成・確保
- ・新しく始めたい方に向けて「新規就農者」「緑の新規就業」を活用し支援

#### **(14) 鳥獣被害防止施策**

- ・捕獲の人材育成、パトロール、「カウベルト事業」の普及定着
- ・「くまっぷ」でインターネット公開し、クマ被害を防止
- ・パトロールや緊急時に捕獲できるように「鳥獣被害対策実施隊」の設置を予定

#### **(15) その他施策**

- ・6次産業化による南砺ブランドの開発
- ・山村部の地籍を促進、小水力発電など再生可能エネルギーの導入を検討
- ・木質バイオマスエネルギーの利活用、リサイクルシステムの普及と充実
- ・「地域おこし協力隊」により、地域力の維持・強化

## 6 今後について

- 「山村活性化支援交付金」を活用して、「どんな資源があるか」、「何をすべきか」検討
- 「南砺にしかない」、「南砺ならではの」の商品を開発していく
- 地元の所得や雇用の増大につながる「しくみ」「きっかけ」に支援

### 「山村活性化支援交付金」について

#### 事業概要

- 山村の豊かな地域資源の活用を通じた地元の所得や雇用の増大に向け、農林業を営む方々をはじめとする地域住民の方々が協力して行う取組を支援します。

#### 支援内容

- 地場の農林水産物やその加工品など山村の魅力ある地域資源の利用状況・活用可能量の調査を支援します。

〔 資源量調査、文献調査、聞き取り調査  
地域資源の管理・保全形態等の調査 等 〕



現地での調査

- 地域資源を地域ぐるみで活用するための活動組織づくり、技術研修などの人材育成を支援します。

〔 住民意向調査、体制づくりのため地域住民による  
ワークショップ開催、資源活用の推進体制・組織の  
整備、実施計画づくり、技術研修会等の開催 等 〕



合意形成・計画づくり

- 特色ある地域資源を活用した製品の販売促進や付加価値向上のためのマーケティング調査、商品開発、山村景観を活用した商品パッケージのデザイン検討などを支援します。

〔 マーケティング調査、地場農林水産物を使った地域産品  
づくり、既存の直売所等と連携した販売促進、地域ブラン  
ドづくり、商品パッケージ等のデザイン検討 等 〕



地域産品の加工及び商品化

※ 本事業は、ソフト活動を支援するものです。